

西 暦	年 号	干支	国および世界の出来事	酒 田 の 主 な 出 来 事 他 (事 項)
2010	平成22	庚寅	<p>1/4 社会保険庁廃止民間の日本年金機構へ</p> <p>1/12 消費者ホットライン開通</p> <p>2/16 バンクーバー冬季オリンピック本県出身の加藤条治500m銅メダル</p> <p>3/21 同パラリンピック太田渉子クロスカントリーバイアスロン銀メダル</p> <p>3/30 東京・銀座一丁目の県のアンテナショップ「おいしい山形プラザ」オープン一周年</p>	<p>1月4日 八幡タウンセンター開所式〔業務は12月28日から開始〕。市が旧3町地域を対象に進めてきた「タウンセンター構想」完了。八幡タウンセンターに八幡総合支所、市立図書館八幡分館および観音寺コミュニティセンターが移転(酒田市広報・平成25年度酒田の教育)</p> <p>1月23日 「みなと市場」開設〔9店が出店〕(酒田市広報)</p> <p>2月10日 鳥海山の南麓にある草津地内の市道路肩から原油流出発見〔1日当たりの流出量が約600ℓ〕(山形新聞)</p> <p>3月5日 〔社〕十全堂社が運営する酒田看護専門学校〔学校長：本間清和酒田地区医師会長〕として最後の卒業式(荘内日報)</p> <p>3月5日 映画「劔岳 点の記」で第33回日本アカデミー賞最優秀録音賞に本市の石寺健一受賞(酒田市広報・荘内日報)</p> <p>3月6日 「第3回日本三大つるし飾りサミット in 酒田」がホテルサンルートで開催(酒田市広報・荘内日報)</p> <p>3月11日 ラベルメーカーの進和ラベル印刷〔株〕〔上山市、晋道純一社長〕と市が京田西工業団地の分譲売買契約締結(酒田市広報)</p> <p>3月18日 山王くらぶ〔国登録有形文化財〕の入館者が5万人を達成(酒田市広報・荘内日報)</p> <p>3月19日 本市出身の齋藤慎爾〔編集者・俳人〕平成21年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。受賞作「ひばり伝」(文部科学広報)</p> <p>3月20日 鳥海中学校閉校式(酒田市広報)</p> <p>3月21日 八幡中学校閉校式(酒田市広報)</p> <p>3月21日 第16回酒田市土門拳文化賞受賞式 三栖幸生(酒田市広報)</p> <p>3月30日 庄内風力発電〔本社・茨城県日立市〕の十里塚の庄内海浜県立自然公園内への発電用大型風車8基建設計画に酒田市景観審議会が市に答申「建設慎重意見」大勢(荘内日報)</p>

2010	平成22	庚寅	<p>3/31 総務省が住民基本台帳に基づく2010年3月31日現在の人口調査結果を発表。1億2705万2860人（朝日新聞）</p> <p>4/1 高校無償化法成立</p> <p>4/8 米露新核軍縮条約調印チェコ・プラハ</p> <p>4/9 川西町出身の作家、井上ひさし死去75歳</p>	<p>3月31日 県が整備の家根合広野地区基幹農道〔約2.2km〕が供用開始・開通式（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>3月31日 人口112,994人〔男53,685人、女59,259人〕世帯数41,443（酒田市統計）</p> <p>3月31日 市営養護老人ホーム松林荘〔昭和26年4月開設〕が閉所（酒田市広報）</p> <p>4月 機構改革により文化〔文化財保護除く〕、スポーツ〔学校体育除く〕部門が市長部局に移管される（平成25年度酒田の教育）</p> <p>4月 1日 松山地区の3つの保育園を統合した松山保育園の開所〔開園式4月6日〕（酒田市広報）</p> <p>4月 2日 庄内風力発電の十里塚の庄内海浜県立自然公園内への発電用大型風車8基建設計画に市が県に回答「建設慎重意見」（山形新聞）</p> <p>4月 3日 市立鳥海八幡中学校開校式〔小泉字前田〕生徒303名。校歌・作詞作曲：佐々木亜希子、校章デザイン：堀林弥（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>4月 4日 市立酒田看護専門学校〔校長：豊田幹夫、第1回生30人、3年制養成校〕開校式。9日入学式（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>4月 6日 酒田市松山地区の市立3保育園が統合し松山保育園〔後藤多美子園長、120人〕開園式（山形新聞）</p> <p>4月 6日 市教育委員会が第一中学校・第五中学校の統合中学校の校名を「第一中学校」と方針決定（平成22年第4回教育委員会報告）</p> <p>4月12日 鳥海やわた観光〔後藤孝司社長〕の八幡ヨーグルト工場竣工式〔酒田市一条〕（山形新聞）</p> <p>4月17日 未明から降雪、積雪 酒田市4cm、山形市15cm（山形地方气象台発表）</p> <p>4月22日 酒田市農産物低温警戒本部〔本部長・本間正巳副市長〕を設置〔3月下旬以降の異常低温農産物対策〕（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>4月22日 臨時市議会が酒田市草津湯ノ台の廃止石油坑井からと見られるしみ出し原油の廃坑封鎖事業費を可決（朝日新聞）</p>
------	------	----	---	--

2010	平成22	庚寅	<p>5/28 口蹄疫特別措置法成立</p> <p>6/2 鳩山首相・小沢幹事長（民主党）と共に辞任表明</p> <p>6/8 第94代菅直人内閣発足</p> <p>6/25 サッカーワールドカップ南アフリカ大会、日本ベスト16</p> <p>6/28～ 高速無料化社会実験開始</p> <p>7/11 参議院議員通常選挙、自民党第1党、衆参ねじれ国会、みんなの党躍進</p>	<p>4月29日 市営光ヶ丘野球場の発光ダイオード〔LED〕を光源とする電光掲示板点灯式（山形新聞）</p> <p>5月7日 県は酒田市の活性化や利用促進策を協議する「酒田港経営戦略会議」の設置を延期（荘内日報）</p> <p>5月20日 県は日立製作所のグループ企業が出資する庄内風力発電〔茨城県日立市〕の計画を風致景観に著しい影響を及ぼすため認められないと回答（山形新聞）</p> <p>5月29日 第10回飛島クリーンアップ作戦。「産学官民方式」発進（朝日新聞）</p> <p>6月2日 市が合成樹脂製ろ過フィルターなどの製造・販売のセルポール工業〔株〕（東京都中央区、糸井道雄社長）松山工業団地の土地売買契約調印式（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>6月3日 市中心部に野生カモシカが1頭出現。翌日保護（読売新聞）</p> <p>6月28日 「ニューとびしま」〔223t、定員300人〕の後継となる新定期船「とびしま」〔約253t〕広島県尾道市で進水式〔耐食アルミニウム製双胴船〕（酒田市広報・山形新聞）</p> <p>6月28日 東北横断自動車道酒田線の酒田みなと一湯殿山区間の高速道無料化社会実験開始（山形新聞）</p> <p>7月6日 庄内空港搭乗者数700万人を達成（酒田市広報）</p> <p>7月9日 酒田港ポートセミナー開催〔ホテルサンルート〕（酒田市広報）</p> <p>7月10日 さよならニューとびしまイベント開催（酒田市広報）</p> <p>7月11日 第22回参議院議員通常選挙。山形選挙区 岸宏一当選（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>7月13日 新定期船「とびしま」〔253t、定員230人〕就航記念式典〔定期船航路事業所〕（酒田市広報）</p> <p>7月16日 飛島定期船「ニューとびしま」〔大正3年に飛島漁業組合が飛島丸を就航して以来6代目〕の最後の航海（荘内日報）</p> <p>7月17日 酒田港一勝浦港〔飛島〕間、新定期船「とびしま」初就航〔大正3年に飛島漁</p>
------	------	----	--	---

2010	平成22	庚寅	8/15 文化功労者、井上ひさしに県民栄誉賞	<p>業組合が飛島丸を就航して以来7代目] (酒田市広報)</p> <p>7月20日 新堀・広野地区でデマンドタクシー〔乗合タクシー〕運行開始 (酒田市広報)</p> <p>7月22日 国土交通省が全地球測位システム〔GPS〕波浪計を酒田沖19キロに設置 (朝日新聞)</p> <p>7月28日 市役所本庁舎整備のあり方を検討する第1回酒田市庁舎あり方委員会開催〔黒田昌裕委員長：東北公益文科大学学長〕 (酒田市広報)</p> <p>7月29日 「万里の松原に親しむ会」〔会長：三沢英一〕が整備してきた光ヶ丘地区の「奥の細道古道」を修復、開通式 (荘内日報)</p> <p>7月29日 松原小学校〔児童548人〕の校舎改築工事安全祈願祭。平成23年3月に完成を目指す (荘内日報)</p> <p>8月 3日 前原国土交通相が23年度以降に集中整備する「重点港湾」から酒田港など全国43カ所〔東北6港〕を選んだと発表 (酒田市広報・山形新聞)</p> <p>8月 3日 気象庁が7月の天候まとめを発表。地区別の月平均気温は酒田24.7度と歴代2位の高温 (山形新聞)</p> <p>8月5日～9月5日 市立資料館で「戦争と市民生活」展示。(酒田市広報)</p> <p>8月16日 めん玉まつりで1400個の卵で直径4mの目玉焼に挑戦。直径3mの記録を更新 (酒田市広報)</p> <p>8月23日 地方独立行政法人「山形県・酒田市病院機構」〔理事長：栗谷義樹〕が酒田市の日本海総合病院の新病棟の増床、手術室の増室等増築工事がほぼ完成し関係者、報道機関に初公開 (酒田市広報・朝日新聞)</p> <p>8月26日 全国で所在不明の高齢者が相次いでいる問題で、市の市民課で本籍はあるものの所在が確認されていない100歳以上の高齢者587人と発表 (朝日新聞)</p> <p>8月30日 創部以来初めて南東北大学野球リーグ1部に昇格の東北公益文科大学硬式野球部が大学創立記念事業として慶応大学と親善試合 (河北新報)</p> <p>8月31日 酒田一中・酒田五中統合準備委員会〔会長：梁瀬吉弘、委員42人〕が統合中学校名を市教育委員会に委ねることを確認。市は条例の改正案の9月定例会冒</p>
------	------	----	------------------------	--

2010	平成22	庚寅	<p>頭での提出を見送り（荘内日報）</p> <p>9月 1日 JR酒田駅前再開発事業を実施する新法人として〔株〕酒田フロントスクエアを設立〔地元7企業が出資・新和設備社長：井上義裕〕（河北新報）</p> <p>9月 1日 飯森山地区のやすらぎ霊園が供用開始（酒田市広報）</p> <p>9月 6日 山形地方気象台が酒田市で午前11時14分に32.4度を記録し最高気温が30度を超し、1932年〔昭和12年〕の統計開始以来、94年の48日を抜き真夏日が49日となり観測史上最多を更新（朝日新聞・荘内日報）</p> <p>9月12日 日本海総合病院増築棟見学会〔平成23年4月1日開設予定〕（酒田市広報）</p> <p>9月14日 第一中学校・第五中学校の統合中学校の校名を「第一中学校」とする条例改正案が市議会にて全会一致可決（朝日新聞）</p> <p>9月20日 中平田コミュニティセンター竣工式典（酒田市広報・山形新聞）</p> <p>9月21日 東急ホテルズ〔本社・東京都〕がJR酒田駅前のホテル「酒田東急イン」〔昭和50年9月開業〕の営業を終了。10月1日に月見〔酒田市、社長：早川孝子〕が経営を引き継ぎ「ホテルイン酒田駅前」として再開（山形新聞）</p> <p>9月28日 東北公益文科大学創立10周年記念講演会。講師：奥山清行〔工業デザイナー〕（大学広報）</p> <p>9月29日 県教育委員会が酒田市内の4高校を統合し2012年4月に開校する酒田新高校名を酒田光陵高等学校とする案を公表（県教育庁公表資料・山形新聞・荘内日報）</p> <p>10月 1日 山形県の国勢調査人口1,168,789人 世帯数388,608。戦後の国勢調査で初めて人口は120万人を下回る。酒田市は人口総数111,170人 世帯数38,944（平成22年国勢調査 人口等基本集計結果報告書・県企画振興部・山形新聞）</p> <p>10月 1日 八幡地区の八森自然公園にパークゴルフ場開設（酒田市広報）</p> <p>10月 1日 酒田医療センターから日本海総合病院への診療科〔消化器内科、整形外科、神経科・精神科〕移行が順次開始〔10月中移行完了〕（酒田市広報）</p> <p>9/14 民主党代表選挙で菅直人が小沢一郎を破り当選</p> <p>9/17 菅直人改造内閣成立</p> <p>9/29 公立4高校を統一し開校する新高校の名称が「酒田光陵高校」と県議会文教公安委員会で発表</p> <p>10/3 つや姫の県内市</p>
------	------	----	---

2010	平成22	庚寅	12/4 東北新幹線全線開通(東京―新青森)	11月22日	2012年開校の県立酒田光陵高等学校〔仮称〕の新校舎建設安全祈願祭が酒田市北千日町、市立中央高等学校敷地内で開催(酒田市広報・荘内日報)
				11月30日	酒田市副市長中村護の任期満了に伴い本間正巳就任。任期は平成25年11月30日まで(酒田市広報)
				12月1日	ラベルメーカーの進和ラベル印刷〔上山市、晋道淳一社長〕が酒田市の京田西工業団地に建設の庄内支店・工業が完成し竣工式(山形新聞)
				12月9日	市庁舎あり方委員会〔委員長：黒田昌裕東北公益文科大学学長〕が市長に対し改築すべきと報告書を提出(酒田市広報・読売新聞)
				12月10日	庄内地方の製材業者と森林組合11企業団体が酒田木材工業団地内に県内最大の木材乾燥施設を整備。「共同組合やまがたの木乾燥センター」が設立(山形新聞)
				12月15日	酒田市議会は「酒田市議会基本条例」と「酒田市議会議員倫理条例」を可決。県内では初、23年4月1日から施行(酒田市議会だより)
				12月15日	酒田市庁舎の調査・研究および提言が目的の「市庁舎あり方検討特別委員会」を設置(酒田市議会だより)
2011	平成23	辛卯	1/14 野球博物館は米沢市出身皆川睦雄の野球殿堂入りを発表 1/14 第2次菅改造内	1月4日	台湾とのプログラムチャーター便の第1便が庄内空港到着。2月まで4便運航を予定(山形新聞)
				1月6日	中合〔福島県〕が清水屋店〔酒田市〕の営業を平成24年2月末で終了と発表(荘内日報・毎日新聞)
				1月8日	酒田市飛島の電話やインターネットの回線が不通となり14日、6日ぶり全回線復旧(山形新聞)
				1月11日	県庄内支庁が遊佐町～酒田市にかけて海岸に丸太約100本漂着と発表(山形新聞・荘内日報)
				1月17日	市、県、商工会議所、地元商店街が「中合清水屋緊急対策協議会」〔会長 阿部寿一〕を結成し中合本社〔社長：安藤静之〕、不動産管理会社「マリーン5」に継続を働きかけ(酒田市広報・朝日新聞)

2011	平成23	辛卯	<p>閣成立 1/14 チュニジアでベンアリ政権崩壊</p> <p>1/21 県は5年ぶり豪雪対策連絡会議を設置</p> <p>1/30 サッカーアジアカップ日本優勝 2/1 カザフスタンで行われた冬季アジア大会スピードスケート男子500mで本県出身の加藤条治が金メダル獲得 2/1 高齢運転者標識が施行 2/11 エジプトでムバラク政権崩壊 2/22 ニュージーランドのクライストチャーチ市付近で地震発生、</p>	<p>1月18日 全日本空輸株式会社が4、5、10月を限定運航で庄内空港・東京線の5便化を発表。運航ダイヤは国土交通省への申請を経て20日発表に予定。市は通年運航などさらなる利便性の向上に向けた取組み（酒田市広報・庄内日報）</p> <p>1月20日 中国向輸出米燻蒸倉庫に県営の酒田北港国際ターミナルの高砂西上屋が選定。5月下旬に登録（山形新聞）</p> <p>1月22日～2月20日 酒田市寄贈記念 洋画家：真下慶治展〔酒田市美術館〕（酒田市広報）</p> <p>1月24日 全農山形が県産新品種米「つや姫」の卸売価格を60kg当たり1万4700円から1万6000円に値上げ（毎日新聞）</p> <p>1月 「第2期酒田市地域福祉計画」「みんなで支える 福祉のまち 酒田」〔案〕平成23年度～27年度〔第2期計画〕策定状況公開（酒田市広報）</p> <p>1月24日 酒田市豪雪対策本部を設置（酒田市広報）</p> <p>2月4日～6日 「みなと市場」1周年イベント開催。昨年1月23日にオープンし、来場者数は市が当初目標していた17万7000人の約1.4倍となる24万8652人（酒田市広報・山形新聞）</p> <p>2月 7日 酒田市教育委員会が飛島中学校を4月から再開すると発表（庄内日報）</p> <p>2月14日 日本海側の本市と太平洋側の宮城県石巻市を結ぶ、東北最短の横断軸「みちのくウエストライン」の整備促進を目指し「石巻・酒田間地域連携サミット」開催（酒田市広報）</p> <p>2月15日 酒田市飛島で海岸漂着ゴミを調査している愛媛大沿岸環境科学研究センターが一部から鉛やカドミウムなど高濃度有害金属を検出と報告（山形新聞）</p> <p>2月16日 酒田市は総額497億7000万円の11年度当初予算を発表。4年ぶり減（山形新聞・庄内日報）</p> <p>2月22日 第60回全国小・中学校・PTA新聞コンクール〔毎日新聞社、全国新聞教育研究協議会など主催〕が入賞校を発表。小学校・学校新聞の部で市立松陵小学校の「万里」が全国1位の内閣総理大臣賞。中学校・学校新聞の部で市立平田</p>
------	------	----	--	---

2011	平成23	辛卯	<p>日本人語学留学生らが被災</p> <p>3/3 2月26日に京都大学で入試問題を試験中にインターネット上の掲示板へ投降した本県受験生が仙台市で逮捕</p> <p>3/11 マグニチュード9.0の国内観測史上最大・世界最大級の地震が発生。庄内5市町村では震度5弱を記録。津波の被害甚大。福島第一原子力発電所の重大事故発生。</p>	<p>中学校の「平田タイムス」名誉大賞・毎日新聞社賞を受賞と発表（毎日新聞・荘内日報）</p> <p>3月 第一中学校校舎改築（平成25年度酒田の教育）</p> <p>3月 3日 市立中央高等学校卒業証書授与式（酒田市HP）</p> <p>3月11日 午後2時46分、東北地方太平洋沖地震が発生し、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の国内観測史上最大の地震が発生。酒田市で震度5弱を記録。市は直ちに対策本部を設置。（酒田市危機管理室）</p> <p>3月11日 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）で光丘神社（酒田市日吉町1丁目）の鳥居が倒壊。酒田市は市内全域停電（荘内日報）</p> <p>3月11日 東日本大震災の影響でガソリン、軽油、重油、灯油が極度な品不足（山形新聞）</p> <p>3月14日 酒田市は3月定例会市議会に欠員の出ている教育委員に鳥海八幡中学校校長の高橋利秀を起用する人事案を提案。全会一致で同意され教員委員長に選任される見通し（荘内日報）</p> <p>3月16日 酒田市が東北地方太平洋沖地震〔東日本大震災〕の第1号号外を発行。「3・11東北地方太平洋沖地震に関する情報」「3月16日号の遅れ」、「地震情報はハーバーラジオから」、「地震による行事・イベントの中止について」、「市民のみなさんへ」、「義援金の受け付け」、「救援物資の受け付け」、「ボランティアについて」、「災害伝言ダイヤル171番」、「正しい情報を入手するために」、「地震の概要」、「本市の被害状況」、「本市の対応」（酒田市広報）</p> <p>3月19日 市立第五中学校閉校式（酒田市広報）</p> <p>3月20日 市立第一中学校閉校式（酒田市広報）</p> <p>3月23日 酒田市が東北地方太平洋沖地震〔東日本大震災〕の第2号号外を発行。「東北地方太平洋沖地震に関する情報」「市民のみなさんへ」、「計画停電について」、「節電、節約にご協力を」、「市民生活」、「本市の取組状況」、「義援金の受付」、「避難所の開設」、「ボランティアの受付」、「市役所の担当部局」、</p>
------	------	----	---	--

2011	平成23	辛卯	<p>「市施設の状況」(酒田市広報)</p> <p>3月25日 酒田港定期コンテナ航路〔酒田港・韓国釜山港〕が3年ぶり週2便就航〔毎週、火曜日と金曜日〕(山形県広報・荘内日報)</p> <p>3月26日 主要地方道酒田松山線のうち酒田市平田地域の飛鳥地区を迂回する「飛鳥バイパス」が供用開始(県庄内支庁道路整備課・荘内日報)</p> <p>3月27日～5月31日 庄内空港東京線5往復運航〔期間限定〕(山形県HP)</p> <p>3月28日 酒田市が東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)の第3号号外を発行。「東北地方太平洋沖地震に関する情報」「市民生活」、「市の取組状況」(酒田市広報)</p> <p>3月31日 人口112,067人〔男53,244人、女58,823人〕世帯数41,507(酒田市統計)</p> <p>4月 1日 平成15年度から休校の飛鳥中学校が飛鳥小学校児童の進学に伴い、4月1日から8年ぶりに再開。開校式は7日(酒田市広報)</p> <p>4月 1日 知的障がい教育部が新設し、県内初の複数障害種別を対象にする県立酒田特別支援学校〔酒田市宮海〕開校。開校式9月9日(酒田市広報・山形県教育委員会HP)</p> <p>4月 1日 川南地区5保育園法人が合併し酒田市保育園協会が発足(荘内日報)</p> <p>4月 1日 日本海総合病院に庄内地方初の「救急救命センター」が開設。日本海総合病院南病棟に「酒田救急ワークステーション」が新設(酒田市広報)</p> <p>4月 1日 閣議で平成23年東北地方太平洋沖地震による災害の名称が東日本大震災と決定(酒田市広報号外4号)</p> <p>4月 1日 平成23年第4回教育委員会で教育委員長に高橋利秀を選出、委員長職務代理者に池田健一を指定(教育委員会報告・荘内日報)</p> <p>4月 3日 新市立第一中学校開校式〔住吉町〕〔校長：佐藤邦生 生徒数：538人 校歌・作詞：麻衣、作曲：久石譲、校章：齋藤豊〕(酒田市広報・荘内日報)</p> <p>4月 5日 酒田市が東日本大震災に関する第4号号外を発行。「東日本大震災に関する情</p>
------	------	----	--

2011	平成23	辛卯	<p>4/4 遊佐町比子の旧青山本邸の保存工事終了</p> <p>4/5 第17回統一地方選挙の前半戦の知事選と都道府県議選が実施。民主、不振。</p> <p>4/12 経済産業省原子力安全・保安院が東京電力福島第1原発事故の深刻度を国際評価尺度（INES）の暫定評価で最悪の「レベル7」と発表</p> <p>4/24 第17回統一地方選挙の後半戦の市町村長選と市町村議選が実施。民主、後半戦も不振。</p> <p>5/6 菅首相が中部電力に浜岡原発停止要請。</p> <p>5/10 中部電力が浜岡原発全炉停止を受諾。</p> <p>5/23 日中韓首脳会談</p>	<p>報」「被害地のためにも、私たちが元気を出していきましょう」「市民生活」「本市の取り組み状況」（酒田市広報）</p> <p>4月7日 市立飛島中学校〔校長：船越誠〕が8年ぶり再開し開校式・入学式。小学校は児童数2人の複式1学級、中学校は生徒数1人の1学級（酒田市広報・山形新聞）</p> <p>4月7日 午後11時30分頃、東北地方太平洋大地震の余震発生〔震度4〕（朝日新聞）</p> <p>4月10日 山形県議会議員選挙投票日。酒田市・飽海郡選挙区は石黒覚、佐藤藤彌、星川純一、金子敏明、森田廣が当選（山形新聞）</p> <p>4月13日 県立酒田特別支援学校〔校長：半澤豊治、全校児童・生徒61人〕で第1回入学式。県内初の複数障害種別対象の学校（酒田市広報・荘内新聞）</p> <p>4月14日 酒田商業、酒田工業、酒田北、酒田中央の公立4高校を統合して2012年に開校する県立光陵高校〔仮称〕の開校準備室が開所（山形新聞）</p> <p>4月23日 県立加茂水産高校〔鶴岡市、校長：村井太郎〕の5代目漁業実習船「鳥海丸」〔233トン、定員39人〕酒田市東埠頭新町岸壁で一般公開（酒田市広報・山形新聞）</p> <p>4月24日 希望ホール・チャリティーコンサート「あのときの ありがとうを わすれない」（酒田市広報）</p> <p>5月11日 遊佐町に7基の風力発電機を設置し庄内風力発電〔本社・茨城県日立市、社長：鈴木和夫〕が現地で竣工式（朝日新聞）</p> <p>5月14日 国際ソロプチミスト酒田（S I酒田、会長：星川恵美、会員26人）が認証から30周年記念事業の一環として児童・生徒デザイン協力に福祉車両を酒田市に寄贈（荘内日報）</p> <p>5月19日～21日 がんばろう！東北！！ 酒田まつり（酒田市広報）</p> <p>5月19日・20日 市の東日本大震災復興支援実行委員会〔委員長：西村修NPO法人代表者・パートナー事務局長〕が酒田まつりに合わせ「『さかた×ふくしま』福幸市」開催（荘内日報）</p>
------	------	----	--	---

2011	平成23	辛卯	<p>で中国が「山梨、山形産の輸入禁止除外」</p> <p>5/25 県が節電の社会実験を実施。削減目標を前年同期比15%なり目標達成に3%未達成</p> <p>5/25 ユネスコの世界記録遺産に山本作兵衛の炭坑の記録が及び記録文書が登録</p> <p>6/3 山形方式節電運動開始</p> <p>6/19 高速道路無料化社会実験終了</p> <p>6/20 東日本大震災の被災者支援の高速道路無料化開始</p> <p>6/24 ユネスコ世界遺産委員会が小笠原諸島</p>	<p>5月28日 米沢市天元台スキー場付近の山岳道路で県立酒田工業高校〔校長：斎藤裕司〕山岳部の生徒10人と教師2人のワゴン車転落事故が発生（朝日新聞・山形新聞）</p> <p>5月28日 酒田市飛島で東北公益文科大学などが組織する実行委員会〔委員長：西村修〕が主催する11回目の海岸漂着ごみ回収「飛島クリーンアップ作戦」（山形新聞・荘内日報）</p> <p>5月30日 市立酒田二中と市立平田中を統合し2012年4月、市立二中の場所に開校する新中学校の校名を「酒田市立第二中学校」とすることを定例教育委員会で議決。市議会6月定例会で正式決定（酒田市教育委員会報告・山形新聞）</p> <p>5月30日 酒田大浜一丁目の県有施設「酒田港西埠頭上屋」が中国にコメを輸出する際に必要な燻蒸処理を行う国内倉庫に東北唯一登録（山形新聞）</p> <p>6月1日 市内の平野新聞舗〔平野宣代表取締役〕が企画、発行する酒田の暮らし情報「さかた手帳」を窓口配布などのため市に寄贈（山形新聞）</p> <p>6月2日 千石町の日本海総合病院酒田医療センターで増改修工事の安全祈願祭（酒田市広報）</p> <p>6月6日 社会福祉法人あすなろ会の「上田保育園」〔上曾根〕が開園（酒田市広報）</p> <p>6月8日 酒田東高校と酒田商業高校の硬式野球定期戦が酒田市営野球場で開催。酒田商業高校の市内公立4高校の統合に伴い84年の歴史に幕（読売新聞）</p> <p>6月10日 本市出身の白崎映美の「上々颱風」の凱旋公演（酒田市広報）</p> <p>6月17日 市立第二中学校と市立平田中学校が統合し、平成24年度に第二中学校敷地内に開校する新校の校名が酒田市立第二中学校に酒田市議会で正式に決定（酒田市議会だより）</p> <p>6月19日 小牧川の環境を保全するグループ「ほたるに逢える小牧川の会」〔会長：斎藤伸二〕の小牧川周辺の清掃ボランティア開催（酒田市広報）</p> <p>6月22日 議会改革に関する項目の整理、検討および議会基本条例に関する諸施策の運用と検証を目的とする議会改革検討委員会を設置（酒田市議会だより）</p>
------	------	----	--	--

2011	平成23	辛卯	<p>を世界自然遺産登録決定。 6/26 ユネスコ世界遺産委員会が「平泉」を世界文化遺産登録決定</p> <p>7/7 新手のカンニングが司法の場で裁かれた京大入試ネット投稿問題は山形地裁が不処分の決定。</p> <p>7/14 第47回献血運動推進全国大会が皇太子殿下御臨席で開催（山形国際交流プラザ）</p> <p>7/16 第1回国際東日本大震災の鎮魂と復興願いが仙台で開催</p>	<p>6月22日 市議会の「市庁舎あり方検討特別委員会」〔委員長：市村浩一〕が築47年経過した市役所本庁舎について「耐震改修は困難で中心市街地に改築〔新築〕すべき」と市議会6月定例会で中間報告（山形新聞・荘内日報）</p> <p>6月26日 酒田市飛島の勝浦港内に大量のゴミが漂着。23・24両日の大雨の影響。定期船「とびしま」が午後から欠航。28日に運航再開（読売新聞・荘内日報）</p> <p>7月1日 JR東日本秋田支社が企画した「東日本海クルージングトレイン『リゾート鳥海』」一番列車がJR羽越本線酒田駅一男鹿線男鹿駅間で運行。7月、9月の週末運行（荘内日報）</p> <p>7月5日 酒田市は5日から毎月2回市内の4小学校〔一條、黒森、浜田、松山〕のグラウンドで空間放射線量を測定し、結果を発表。「人体への影響はない」とした。また、同日採集したプールの水の放射性物質の結果を7日公表。市営光ヶ丘プール〔屋外〕と浜田小、黒森小、一條小、松山小の5カ所ともヨウ素131、セシウム137、同134は検出されず。（酒田市広報）</p> <p>7月8日 酒田市は7日、琢成学区の市民参加による津波ハザードマップ作りを開始（朝日新聞）</p> <p>7月8日 酒田市米粉利用推進協議会の取組みによる〔株〕波里〔栃木県佐野市、社長：藤波一博〕と庄内みどり農業協同組合〔酒田市、組合長：阿部茂昭〕間の粉用米出荷契約締結発表会（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>7月9日 酒田・釜山コンテナ輸送を中国の天津・大連に延長した貨物船サニーオーク号が就航し酒田港北港高砂岸壁〔国際ターミナル〕に初入港（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>7月10日 「酒田市青少年を伸ばそう市民会議」〔会長：宮田浩一〕が発足30周年を記念し公益研修センターで研修会開催（山形新聞）</p> <p>7月11日 「日和山神明さんを修復する会」〔会長：家坂徳久〕が日和山の金刀比羅社隣に北前船の錨を守る東屋建設完成。（コミュニティ新聞）</p> <p>7月15日 酒田市観光物産館「山居倉庫—酒田夢の倶楽」〔2004年4月に開館。酒田</p>
------	------	----	--	--

2011	平成23	辛卯	<p>7/17 サッカー女子ワールドカップドイツ大で「なでしこジャパン」が初優勝</p> <p>7/20 全国知事会議で吉村美栄子知事が滋賀県の嘉田由紀子知事と連名で「卒原発」提言</p> <p>7/24 テレビ放送がアナログ放送終了、地上デジタル放送に完全移行（岩手、宮城、福島県の被災3県を除く）</p> <p>7/25 県が肉牛の放射線量を全頭検査の方針</p> <p>7/29 サッカー女子ワールドカップドイツ大会の佐々木則夫監督（尾花沢出身）に県民スポーツ大賞</p> <p>8/ 東日本大震災に伴う県内避難者1万人を</p>	<p>観光物産協会〔会長：佐藤淳司酒田商工会議所会頭〕が指定管理者〕が、7年2カ月余で来館者500万人達成（荘内日報）</p> <p>7月17日 「農商工連携バイさかたキャンペーン」の一環として11団体が出店し、第1回「バイさかた市」を中町モールで開催（荘内日報）</p> <p>7月20日 福島県浅川町産の放射能汚染牛肉を市内の八幡、一条、亀ヶ崎の3保育園が給食に提供（朝日新聞・荘内日報）</p> <p>7月20日 酒田商工会議所、酒田観光物産協会共催による酒田観光ふれあいミーティングが東京で開催（酒田市広報）</p> <p>7月28日 龍巖寺〔住職：本多武覚〕に伝わる「両界曼荼羅図」が東北芸術工科大文化財保存修復研究センターにより2年がかりで修復・奉納（朝日新聞）</p> <p>7月31日 高校野球の強豪・酒田南高校野球部を春夏10回の甲子園出場に導いた西原忠善監督が退任。降任に前部長の阿彦祐幸（荘内日報）</p> <p>8月 市が「酒田市庁舎改築計画基本構想」〔案〕を策定。15年度に完成。まちづくり、防災の拠点（酒田市広報・山形新聞）</p> <p>8月 1日 国土交通省政務官が県提案の「日本海側拠点港」調査で来酒（NHKテレビ）</p> <p>8月 1日 旧松山町出身の洋画家、石塚三吾〔横浜市在住〕から絵画48点が本市に寄贈（酒田市広報）</p> <p>8月6日～8日 東北芸術工科大東北文化研究センターが酒田市飛島に関する考古・歴史・民俗3分野の調査研究報告会「飛島—ほる・よむ・きく」を開催（山形新聞）</p> <p>8月11日 スポーツの街プロジェクト「酒田市シンボルマーク」決定（酒田市広報）</p> <p>8月17日・18日 庄内地方や最上地方を中心に大雨。酒田市で住宅の床上浸水や土砂崩れが相次ぐ。山形地方気象台が24時間雨量は酒田市で179^{mm}、1976年〔昭和51〕の観測開始以来最多記録を更新〔18日午後5時まで〕、観測史上最高と発表（山形新聞）</p> <p>8月20日～23日 酒田湊北前船寄港フェスティバルに「みちのく丸」〔自力航行可能な日本唯一の復元北前型弁才船〕が酒田港に寄港（酒田市広報・山形新聞）</p>
------	------	----	--	---

2011	平成23	辛卯	<p>突破</p> <p>8/18 女子サッカー「なでしこジャパン」に国民栄誉賞授与。</p> <p>8/29 民主党代表選挙に野田佳彦が当選。第95代首相に野田佳彦を指名</p> <p>9/1 東北電力が県内電力20%削減率を発表</p> <p>9/2 第95代野田佳彦内閣が成立</p> <p>9/ タイで大規模な洪水が発生、日系企業も大打撃</p>	<p>8月24日 国土交通省が日沿道未整備区間の朝日まほろば〔新潟県村上市〕－温海間36kmと遊佐一象潟〔秋田県にかほ市〕間17kmの両県境2区間を「計画段階評価」に着手と発表（荘内日報）</p> <p>8月30日 市教育委員会が市立鳥海小学校〔校長：古川雅裕、児童168人〕を西側に隣接する旧鳥海中学校の施設を改修し、平成24年4月移転を決定。市議会9月定例会に提案（荘内日報）</p> <p>8月31日 ホテルサンルート酒田〔社長：齋藤強〕がサンルートホテルチェーンから離れ一般宿泊業務を終了。社名を1日から酒田玉姫殿に変更（荘内日報）</p> <p>9月 2日 山口美咲〔酒田中央高校3年生〕が第35回全国高等学校総合文化祭 福島大会に「香紙切」で最高賞の書部門奨励賞・朝日新聞社賞を受賞（酒田市広報・山形新聞）</p> <p>9月2日～4日 第44回全日本社会人体操競技選手権大会が国内トップレベルの選手を迎え酒田市国体記念体育館で開催（酒田市広報）</p> <p>9月 3日 2002年3月に開校した県立松山高校を使用し、同年4月に開校した生涯学習施設・里仁館〔館長：植松芳平〕の創立10周年記念式典が市松山農村センターで開催（荘内日報）</p> <p>9月 5日 酒田市が奥山峯石〔東京都北区在住、人間国宝〕から純銀製の工芸作品、打込象嵌鉢「庄内の晩秋」を寄贈（酒田市広報）</p> <p>9月 7日 荘内地方の製材業者と森林組合の11企業・団体が酒田市宮海に酒田木材工業団地に整備した「協同組合やまがたの木乾燥センター」〔理事長：富樫洋一モトタテ社長〕が完成し竣工式（荘内日報）</p> <p>9月 7日 県立酒田特別支援学校〔校長：半澤豊治、幼稚部から高等部まで62人〕が酒田市宮海の同校で開校式（荘内日報）</p> <p>9月15日 NTTドコモが提供する「緊急速報メール」サービスを利用した災害・避難情報の携帯電話への配信を開始（酒田市広報）</p> <p>9月24日 第30回体験農業「稲刈り」が砂越地区で開催され県内外の参加者と交流（酒</p>
------	------	----	---	--

2011	平成23	辛卯	10/3 丸谷才一（作家・鶴岡市出身）が文化勲章を受章（本県4人目）	<p>田市広報）</p> <p>9月27日 ウィーンの森バーデン市劇場 歌劇「カルメン」が希望ホールで開催（酒田市広報）</p> <p>9月28日 第1回東平田小学校・中平田小学校・北平田小学校統合準備委員会が開催（酒田市広報）</p> <p>9月28日 酒田市内に残る獅子舞を後世に伝承し地域の振興と活性化を図る目的の「酒田獅子舞振興会」〔吉村栄吉会長〕が浜田学区コミュニティ防災センターで設立総会（荘内日報）</p> <p>10月 1日 庄内空港開港20周年記念セレモニー開催〔庄内空港ビル2F出発ロビー〕（酒田市広報・山形県HP）</p> <p>10月1日～29日 庄内空港5往復運航〔期限限定〕（酒田市広報）</p> <p>10月 1日 山形県人口1,168,924人。15年連続人口減少し戦後初めて120万人を割る。酒田市は総人口111,151人〔男52,610人、女58,541人〕世帯数38,955（県総務部総合政策局・山形新聞）</p> <p>10月 3日 鳥海山〔標高2236m〕初冠雪（朝日新聞・荘内日報）</p> <p>10月 4日 庄内出身者学徒の育英事業の援助を目的にした「庄内会」（会長：長沢健助）が65年の歴史に幕（山形新聞）</p> <p>10月7日～9日 第35回山形県高等学校総合文化祭が酒田市を主会場に開催（酒田市広報）</p> <p>10月 8日 庄内空港開港20周年記念式典が酒田市のホテルリッチ&ガーデン酒田で開催（山形新聞）</p> <p>10月11日 気象庁は国土交通省が酒田沖20kmに設置したGPS波浪計を活用した津波観測を午後1時から運用開始（NHK報道）</p> <p>10月16日 第10回田沢川ダムまつり開催（酒田市広報）</p> <p>10月22日 県立酒田商業高等学校〔校長：中山栄行、生徒・全日制310人定時制25人〕の閉校記念式典と閉校式を酒田市希望ホールで開催（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>10月23日 最上家重臣・志村光惟らに仕え後に酒田城代や川北奉行として酒田まちづくり</p>
------	------	----	------------------------------------	---

2011	平成23	辛卯	<p>10/25 中国黒竜江省に「山形県ハルピン事務所」を開設</p> <p>10/26 総務省が2010年国勢調査の確定値を発表。</p> <p>10/31 世界人口は本日70億人となる(国連人口基金)</p> <p>10/31 1ドル=75円32銭となり戦後最高値を更新</p> <p>10/31 国連人口基金の推計で世界の人口が70億人に到達。</p> <p>11/3 モンテディオ山形J2リーグ転落決定</p>	<p>の礎を築いた齋藤廣盛〔齋藤筑後守〕を検証する顕彰碑が上日枝神社〔酒田市浜田1丁目〕に建立(山形新聞)</p> <p>10月23日 第10回「花王ファミリーコンサート in 酒田」が希望ホールで千住真理子を迎え開催。チケット売上の全額を酒田市教育委員会に寄贈(荘内日報)</p> <p>10月26日 市庁舎改築の基本設計および実施設計を依頼する設計者の選定、プロポーザルの設計業者による公開説明会を開催し特定。最優秀提案者 日本設計〔本社・東京都新宿区、社長：六鹿昭二治〕、優秀提案者：株式会社松田平田設計(酒田市広報・荘内日報)</p> <p>10月26日 県教育委員会が2012年4月開校の酒田光陵は普通、工業、商業、情報の各教科合せて計440人定員。酒田商定時制が酒田西に定員40で設置(荘内日報)</p> <p>10月29日 市立若浜小学校(伊校長：伊藤誠一、児童351人)の創立40周年記念式が体育館で開催(荘内日報)</p> <p>10月29日 酒田ライオンズクラブ創立50周年記念式典がホテルリッチ&ガーデンで開催(荘内日報)</p> <p>11月5日 市立松山中学校創立60周年記念式典を松山中学校で開催(酒田市HP)</p> <p>11月5日 酒田市営山小舎万助小舎50周年記念祝賀会を玉姫殿で開催(酒田市HP)</p> <p>11月9日 日本海で発生する突風を研究する気象庁気象研究所は、JR東日本との共同プロジェクトの一環として、酒田市浜中の海岸に6台の風速計と13台の気圧計を設置。(朝日新聞)</p> <p>11月11日～17日 「税についての作文」で五十嵐美帆〔酒田一中〕が国税庁長官賞(荘内日報)</p> <p>11月11日 酒田南高等学校創立50周年・南桜同窓会創立50周年合同記念式典が酒田南高等学校で開催(酒田市HP)</p> <p>11月11日 国土交通省は、酒田港をリサイクル貨物部門の日本海側拠点港に選定したと正式発表。日本海側拠点港に19港が決まり、リサイクル貨物部門の選定は酒田</p>
------	------	----	---	--

2011	平成23	辛卯	<p>11/27 大阪府知事選挙 松井一郎、大阪市長選 挙 橋下徹（大阪維新 の会）が当選</p>	<p>港のみ。選定11月15日（酒田市広報・酒田港湾事務所HP）</p> <p>11月13日 松陵コミュニティ振興会創立20周年記念式典がホテルリッチ&ガーデン酒田で開催（酒田市HP）</p> <p>11月13日 第20回庄内オープン綱引大会が国体記念体育館で開催（酒田市広報）</p> <p>11月15日 あきほ病児・病後児保育所が開所〔日本海総合病院内保育所隣〕（酒田市広報）</p> <p>11月18日 酒田市御成町の本間邸庭園が国の文化審議会〔会長：西原鈴子〕より文部科学相へ国の登録記念物〔名勝〕指定を答申（朝日新聞）</p> <p>11月18日 酒田市議会議長に村上栄三郎、副議長に高橋千代夫を選出（酒田市HP）</p> <p>11月19日 酒田第二幼稚園創立30周年記念式典〔ル・ポットフー〕（酒田市HP）</p> <p>11月23日 きらきらうえつ10周年記念ちびっこ車掌体験を実施（酒田市広報）</p> <p>11月23日 県立酒田工業高等学校〔校長：斎藤裕司、生徒477人〕の閉校記念式典〔希望ホール〕（酒田市HP・荘内日報）</p> <p>11月26日 市立酒田中央高等学校〔誇張：菅原裕晃、生徒395人〕の閉校式を同校で開催。71年の歴史を閉じる（酒田市広報・山形新聞）</p> <p>11月27日 酒田市松山地域で伝承されている「松山能」（県指定無形民俗文化財）の薪能30周年・大寒能20周年記念式典が松山農村改善センターで開催（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>11月30日 〔株〕酒田フロントスクエアが、国・県・市の補助制度を用い、酒田駅前ジャスコ跡地の設計に着手（酒田市広報）</p> <p>12月 1日 東日本大震災の被害者以外も対象となる料金無料化が東北地方の高速道路で開始。土日祝日のみ、ETC〔自動料金収受システム〕搭載の普通車以下だけ対象（山形新聞）</p> <p>12月 3日 クリーニング業のロイヤルネットワーク〔酒田市、社長：仲条敬三〕が県産業賞受賞。齋藤茂吉文化賞は県詩人会会長の高瀬靖〔酒田市〕が受賞（荘内日報）</p> <p>12月 4日 酒田港が「リサイクル貨物」部門で日本海側拠点港選定を祝う県港湾協会〔会長：吉村美栄子知事〕、酒田港湾振興会〔会長：阿部寿一市長〕、東方シルク</p>
------	------	----	---	---

2011	平成23	辛卯	<p>12/9 学校保健統計調査の結果、本県は身長で女子17歳、体重で男子8歳と女子16歳の平均値が全国1位。肥満傾向児の出現率で男子8歳と10歳が全国1位</p> <p>12/17 北朝鮮の金正日総書記が死去</p> <p>12/29 東北芸術工科大学と京都造形芸術大学の学校法人統合問題で統合を正式に断念。</p> <p>12/29 北朝鮮に金正日総書記の中央追悼大会で金正恩が後継指導者として公式に宣言</p>	<p>ロード貿易促進協議会〔会長：新田嘉一平田牧場会長〕の祝賀会開催（酒田市広報・荘内日報）</p> <p>12月 7日 プラネタリウムコンサート「見上げてごらん夜の星を☆」を開催（酒田市広報）</p> <p>12月 8日 安全安心の街「地下道アートギャラリー開所式」〔JR酒田駅地下道出口〕（酒田市広報）</p> <p>12月 9日 第49回技能五輪全国大会〔主催：中央職業能力開発協会〕に東北エプソン〔株〕の小野寺翔平が精密機器組み立て職種で銀賞を受賞（厚生労働省HP）</p> <p>12月 9日 文化審議会が遊佐町の鳥海山の西麓にある鳥海山大物忌神社吹浦口ノ宮本殿を国の文化財に登録するように文部科学省に答申（読売新聞）</p> <p>12月19日 松山歴史公園整備基本構想策定委員会の初会合が農村環境改善センターで開催。3月定例会に提案予定（荘内日報）</p>
------	------	----	--	---